

みどり投資促進税制の対象機械一覧<令和5年3月3日時点>

※機械の効能、事業者の問い合わせ先等は、基盤確立事業実施計画の概要のページを参照ください。

機器等の種類	認定基盤確立事業者	名称	型式	販売開始日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW5-F-D	2019年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW5-F-R	2019年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW6-F-D	2019年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW6-F-R	2019年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW6-CF-R	2019年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW6-CY24F	2019年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW6S-F-D	2018年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW6S-F-GS	2018年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW6S-F-R	2018年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW6S-CF-GS	2018年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8-CF-R	2019年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8-CY32F	2019年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8-F-D	2019年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8-F-R	2019年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8-Y32F	2019年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8S-MY32PF-GS	2023年1月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8S-CY32AF-GS	2018年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8S-CY32F-GS	2018年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8S-F-GS	2018年9月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8S-F-GS-NH	2019年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8S-WF-GS	2018年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8S-Y32F-GS	2018年12月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8S-PF-GS	2020年1月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8SA-PF-A	2020年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8SA-PF-OP	2020年10月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW8SA-CY32PF-OP	2021年4月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW10S-F-GS	2021年1月1日
可変施肥田植機	株式会社クボタ	ナビウエル	NW10SA-PF-A	2022年10月1日

○データに基づく可変施肥田植機や、施肥設計の基礎となるデータを取得する食味・収量コンバインの普及拡大に向けて、営農管理システムの活用促進を含むPR活動強化やアフターサービスの充実等に取り組む。

【主な事業内容】

- スマート農業の専門担当者、栽培技術の指導者等でチームを組織し、販売・普及活動に取り組む。
- 対面中心の普及活動に加え、WEB会議システムやSNS等の活用を通じた情報発信等に取り組む。
- GNSS機器の取扱いや営農管理システムとの機器連携等、スマート農業技術の活用に必要な指導やアフターサービスを提供する体制を充実する。

【主たる事業所の所在地】

大阪府大阪市

【計画の実施期間】

令和5年1月 ~ 令和9年10月

【活用する支援措置】

みどり投資促進税制の対象機械の追加

【問い合わせ先】(株)クボタ アグリソリューション推進部 (06-6648-3809)

可変施肥田植機

- KSAS上で作成した施肥マップを可変施肥対応機に読み込ませることで可変施肥が可能になります。



施肥調量&KSAS連動

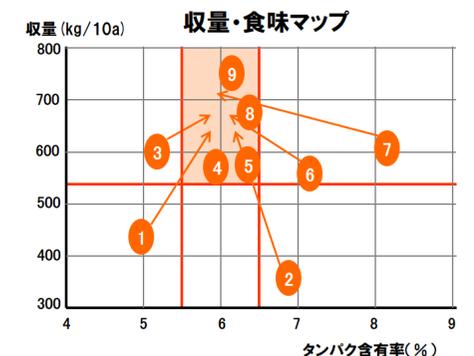
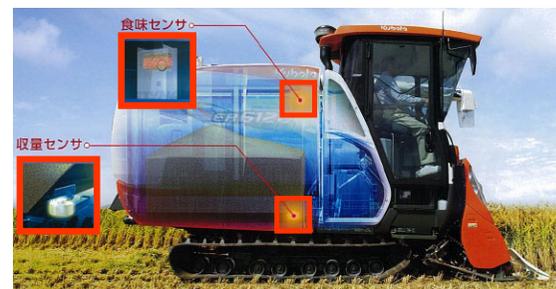
ほ場ごとに事前に施肥設計した施肥量データをスマートフォンから送信するだけで、自動で施肥量・計量値が変更できます。作業効率の向上、コスト低減、ほ場ごとの施肥管理を徹底することで、稲の均一で健全な生育をサポートします。

KSAS連動
だから、できる！



食味・収量コンバイン

- 食味・収量センサ付きコンバイン(PFコンバイン)で刈取りをすれば、圃場ごとの食味(タンパク値)と収量がわかります。
- KSASとコンバインを連携させることで圃場ごとの食味・収量分布をグラフとマップで確認できます。



食味・収量分布データに基づく次期作の基肥設計が可能に